



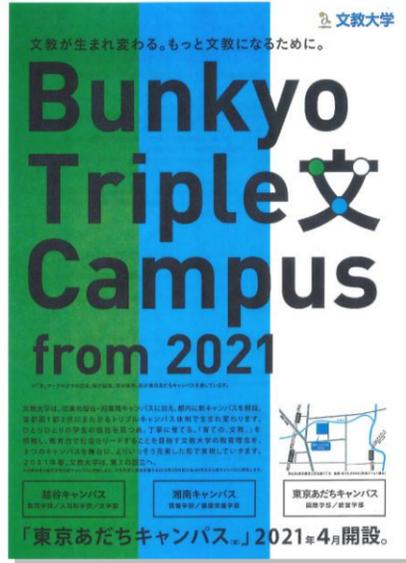
# 1 文教大学「新キャンパス開設に伴う学部移転」等について

## 〈新キャンパスの概要〉

- 文教大学は、6月1日付けで足立区との間に包括基本協定書の締結を行いました。
- 同時に、花畑の用地に新キャンパス“東京あだちキャンパス[仮称]”を2021（平成33）年に開設することを発表しました。
- 学部移転内容は、国際学部（定員980名。国際理解学科、国際観光学科の2学科）と、経営学部（定員660名。経営学科）の合計1,640名で、湘南キャンパスから全学年一斉に移転してくることになります。
- これにより文教大学は1都2県にまたがる3キャンパス体制となります。

キャンパス名	学部構成（収容定員）
東京あだちキャンパス[仮称] 【所在地：東京都足立区】	国際学部（980名） 経営学部（660名）
越谷キャンパス 【所在地：埼玉県越谷市】	教育学部（1,400名） 人間科学部（1,600名） 文学部（1,440名）
湘南キャンパス 【所在地：神奈川県茅ヶ崎市】	情報学部（1,140名） 健康栄養学部（400名）

※収容定員は現時点で想定されるもの



## 〈開設までのスケジュール〉

- 「東京あだちキャンパス[仮称]」の工事計画（予定）は、以下のとおりです。

- ① 設 計：平成29年4月～平成31年2月
- ② 工 事：平成31年3月～平成32年12月
- ③ 開 設：平成33年4月



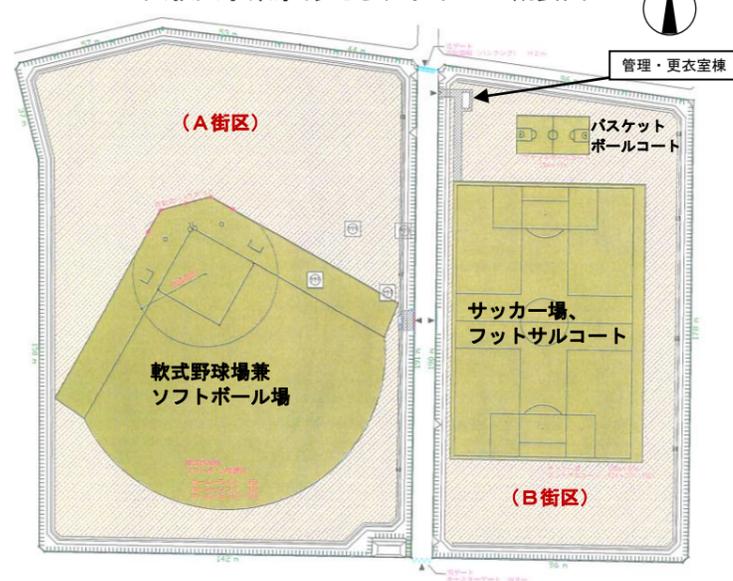
- キャンパス建設用地を工事開始まで有効活用するため、野球、サッカー、バスケット用にグラウンド整備を行いました。

- 学生が使用しない日については、花畑地区の学校開放登録団体（野球5団体、ソフトボール6団体、サッカー7団体）に開放します（本年7月から使用開始）。



東側からの眺望（手前がB街区）

■文教大学東京あだちグラウンド概要図

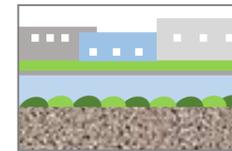


# 2 人道橋の新設や毛長公園の改修等について

- 区は、文教大学の新キャンパス開設にあわせて、毛長川に架ける人道橋と毛長公園の改修等の周辺環境整備を進めています。

## 〈人道橋の整備状況〉

- 架橋候補地として文教大学北側と草加市側(株)東京ひよこ工場の付近を検討しています（1ページ参照）。
- 昨年度は、足立区側と草加市側でボーリング調査、人道橋の基本設計、関係機関との協議などを進めました。
- 今年度は、関係機関との協議、草加市との確認書の取交し、詳細設計などの検討を予定しています。



## 〈毛長公園の改修等状況〉

- 昨年度は、公園設計に必要な敷地の測量、標準的な断面の基本設計を実施しました。
- 今年度は、護岸整備を行う東京都第六建設事務所との調整、自転車歩行者道整備に向けた、竹の塚警察署との協議を予定しています。

## 〈毛長川の課題対応〉

- 昨年度の検討で、現在の河川計画で護岸整備を行うと、足立区側、草加市側とも川沿い道路に影響が及ぶことが確認されました。河川を管理する東京都は1年間かけて河川計画の検証を実施することとなりました。
- 区は、都による検証作業にも適宜対応しながら、引き続き、周辺環境整備検討に取り組んでいく予定です。

# 3 花畑地区の交通利便性の向上について

## 〈大学経路ルートのご検討〉

- バスの経路変更については、文教大学も交え、区とバス事業者との協議を行っています。バス事業者は、「花畑四丁目」バス停を通して大学を経由するルートを検討したい意向です。引き続き協議を続け、改めてご報告します。



## 〈日常の外出に関するアンケート調査結果〉

- 高齢者の外出支援を検討する目的で実施。調査結果は以下のとおりです。
- 花畑一～八丁目の公共交通空白地域※にお住いの60歳以上の男女を無作為抽出し、平成28年10～11月に調査を行いました（1,190件配布、597件回答、回収率50.2%）。  
※公共交通空白地域：駅から1km、バス停から300mの範囲に該当しない地域
- 回答から予測した新たな交通サービス利用者需要は262人となりました。これを踏まえ新たな交通サービス導入の可能性について検討していく予定です。

# 4 花畑北中学校の南側道路の中央分離帯について

- 前回の協議会で「中央分離帯を撤去して欲しい」とのご要望がありました。ご意見を警察に伝えたところ、車のスピード超過や、違法駐車が発生が懸念されることから、現状維持が望ましいという見解でした。これを受け、区では現状のまま管理していきたいと考えています。

